

# インド古典舞踊 ツアー概要

インドに伝承される3つの古典舞踊が織りなす細密画のような世界

南西インドのモヒニヤッタム、南インドのバラタナティヤム、東インドのオリッシー。古の時代からインドのヒन्दゥー寺院で伝わってきた古典舞踊を学ぶ、日本人ダンサーたちによる魂の共演。

2014年、沖縄、福岡、北海道、静岡、東京にて公演予定。

## Mohiniyattam

### 《Mohiniyattam モヒニヤッタム》

南インド・ケーララ州で独自に発展してきた女性舞踊で、インド七大古典舞踊の一つに数えられる。古くはヒन्दゥー教寺院の巫女によって神へ奉納されてきた舞。モヒニは「この上なく魅惑的な女性」、アッタムは「優雅な踊り」を意味し、女性らしいやわらかな動きが特徴である。また、細やかな目の動き、豊かな顔の表情、ムドラーと呼ばれるハンドジェスチャーを使って多彩な感情を表現し、神へ捧げる愛を表現した祈りの舞である。

### 《岡埜桂子プロフィール》



2004年丸橋広実氏のインド舞踊教室にて、南インド・ケーララ州の古典舞踊モヒニヤッタムに出会う。2010年よりケーララの女性舞踊・芸能の研究教育機関「Natanakaisiki」の創立者グル・ニルマラ・パニッカルに師事し、現地の大自然の中でモヒニヤッタムを学ぶ。2011年5月ケーララ州 Natanakaisiki の舞台にてソロパフォーマンスを経験。モヒニヤッタムが織りなす優美で繊細な表現の世界に魅了され、インド・日本で公演およびライブ活動などを行いながら現在に至る。

連絡先: keiko.okano0327@gmail.com

ブログ: <http://mohiniyattam.blog.fc2.com/>

# Bharatanatyam

## 《Bharatanatyam バラタナティヤム》

インド四大舞踊のひとつであるバラタナティヤムは、南インド・タミルナードゥ州のヒンドゥー寺院で発祥した舞踊で、その起源は二千年を遡るといわれている。直線的・幾何学的でダイナミックな動きを特徴とし、大地を踏みしめる力強く軽快なステップと躍動感あふれる動き、顔の表情や手のジェスチャーを駆使し語られるヒンドゥー神話、豊かな感情表現により、神々への献身が紡がれる。

## 《岸美和プロフィール》



2001年バラタナティヤムを始める。ヌリッティヤラクシャナジャパン主宰、山元彩子氏に師事。2007年アランゲトラム(ソロパフォーマンス)。東京、静岡を中心に公演やライブ活動を行うほか、地方公演、東北地方被災地支援活動なども行っている。

## 《堀友紀子プロフィール》



2001年より南インド古典舞踊「バラタナティヤム」を始める。現在「ヌリッティヤ ラクシャナ ジャパン」主宰山元彩子に師事。2007年インド・チェンナイにて、初のソロ公演(アランゲトラム)。東京を中心にソロ公演、デュエット公演、ライブ活動を展開するほか、北海道や熊本、東北などでもパフォーマンスを行っている。

<http://yukiyamini.com>

# Odissi

## 《Odissi オリッシー》

東インドのオリッサ州で神様への捧げものとして寺院で生まれ継承されてきた踊りを発祥とする踊りで、インド七大古典舞踊の一つとされている。寺院彫刻を基に作られたポーズから、「動く彫刻」とも表現される。独特な胴の動きがあり、上半身は柔らかかにうねるような曲線を描き、鈴を付けた足は複雑に力強くステップを刻む。その叙情的で繊細な世界観が、見る人々を魅了し続けている。

## 《星野あかねプロフィール》



2002 年より安延佳珠子氏にオリッシーを習い始める。2007 年に本場インド・オリッサ州にて初修行。2010 年からは、インドの人間国宝・故グル・ケルチャラン・モハパトラが設立した学校にて、その息子夫婦であるグル・ラティカント・モハパトラとスジャータ・モハパトラに師事している。インドや日本にて数々の舞台を経験し、オリッサ州での主要フェスティバルに多数出演。現在、PADMA Odissi Dance を主宰し、主催公演や師匠の日本招聘公演を行い、オリッシーの普及活動に努める。(ホームページ <http://padma-odissi.com/>)